



上賀茂だより

11月臨時号

京都市立上賀茂小学校
校長 谷 武彦

学校教育目標 「自分で考え 正しく判断し 進んで行動する子どもの育成」

〒603-8073 京都市北区上賀茂烏帽子ヶ垣内町1

☎ 711-0804 FAX 781-0480

上賀茂小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kamigamo-s/>

(携帯電話からもご覧になれます。)



京都はぐくみ憲章

令和元年度 第1回学校評価結果について

第1回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は『確かな学力』に関する質問7項目、『豊かな心』に関する質問4項目、『健やかな体』に関する質問3項目、その他3項目の計17項目の「学校評価保護者アンケート」を7月に実施いたしましたところ、97.6%の保護者の方にご回答いただき、たくさんのお貴重なご意見をいただきました。



◇保護者アンケート結果

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	確かな学力	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	
お子さんは、毎日楽しく学校に通っていると思われますか。	58.5%	35.9%	4.3%	1.3%		まいにちがっこうにたのしくよえていますか。	61.5%	32.3%	5.3%	0.9%
お子さんは、学習したことをきちんと理解していると思われますか。	35.1%	52.9%	10.9%	1.1%		じゅぎょうはよくわかりますか。	57.0%	35.2%	6.5%	1.3%
お子さんは、授業中すんで発表していると思われますか。	23.8%	35.1%	32.2%	8.9%		じゅぎょううちゅう、すすんではっぴょうしていますか。	36.3%	29.7%	25.5%	8.4%
お子さんは、すすんで宿題に取り組めていると思われますか。	37.2%	39.2%	18.2%	5.5%		じぶんからすすんでしゅくだいをしていますか。	55.7%	32.1%	9.4%	2.7%
お子さんは、すすんで宿題以外の自主的な学習に取り組めていると思われますか。	22.9%	32.9%	30.1%	14.1%		しゅくだいとはべつに、いえですすんでがくしゅうをしていますか。	44.3%	26.2%	17.9%	11.5%
お子さんは、家でも本を読んでいると思われますか。	31.2%	26.4%	28.7%	13.7%		いえでもすすんでほんをよんでいますか。	48.3%	22.6%	20.0%	9.1%
お子さんと学校での出来事や様子について話ができるいると思われますか。	32.7%	49.4%	16.3%	1.6%		がっこうでのできごとをいえのひとにはなしていますか。	51.7%	28.6%	14.0%	5.6%
学級活動や児童会活動、たてわり活動などを通じて、子どもの発想を生かした取組が進められていると思われますか。	23.7%	64.7%	9.8%	1.8%		たてわりかつどうをたのしんでいますか。	64.8%	24.8%	7.7%	2.7%
お子さんは、人をいじめたり、なまほはずれにしたりしないように行動し、友だちと仲よく生活できていると思われますか。	52.8%	44.1%	2.7%	0.4%		ひとをいじめたり、なまほはずれにしたりしないようにして、なかよくがっこうせいかつがおくれていますか。	76.3%	19.3%	2.6%	1.8%
お子さんは、家族・友だち・近所やスクールガード隊などの人に対してきちんと挨拶していると思われますか。	36.1%	50.5%	12.5%	0.9%		だれにたいしてもじぶんから、きものよいあいさつをしていまますか。	52.5%	37.4%	8.5%	1.6%
お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守れていると思われますか。	51.8%	45.3%	2.3%	0.5%		がっこうのなかでもそとでもきまりをきちんとまもってせいかつしていますか。	64.1%	32.2%	2.9%	0.7%
お子さんは、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についていると思われますか。	39.7%	42.6%	16.2%	1.4%		「はやね・はやおき・あさごはん」ができていますか。	48.7%	33.5%	15.1%	2.7%
お子さんは、安全に気を付けて行動できていると思われますか。	38.1%	52.9%	7.9%	1.1%		がっこうやいえで、あんぜんにきをつけてこうどうしていますか。	73.3%	21.9%	4.0%	0.7%
お子さんは、元気にして動かしていると思われますか。	52.4%	35.7%	10.1%	1.8%		たいいいくのじかんややすみじかんに、げんきにからだをうごかしていますか。	60.7%	24.4%	12.9%	2.0%
学校だより、学級だより、学校ホームページ等を通じて、学校・担任からのメッセージや学校の様子がよく分かると思われますか。	32.9%	55.6%	10.3%	1.3%		がっこうでくばられたてがみやプリントをきちんとおうちのひとにみせていますか。	71.5%	21.6%	5.4%	1.5%
小中の連携した教育活動(6年生の中学校体験・生き方探究チャレンジ体験など)は、お子さんの中学進学時に役立つと思われますか。	36.4%	54.3%	7.7%	1.6%						
保幼小の連携した教育活動(交流・ランドセル体験・給食体験など)は、お子さんの小学校入学時に役立っていると思われますか。	39.6%	46.2%	11.7%	2.6%						





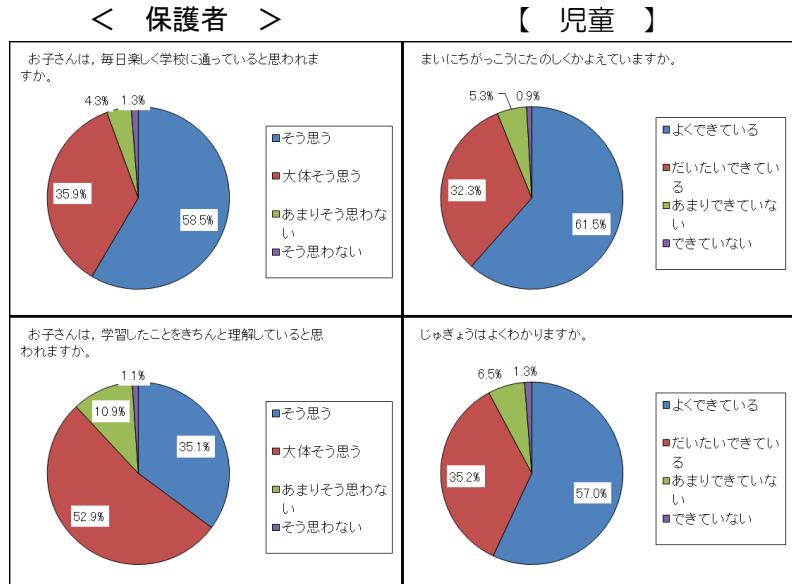
『確かな学力』の育成に向けて



★一人一人の子どもが主体的に学ぶ楽しさとわかる喜びを実感できる取組を目指していきます。

アンケート結果より、9割強の保護者・児童が毎日楽しく学校へ通い、授業がわかると回答しているところから、学校生活が充実していることがうかがえます。

上賀茂小学校では、毎時間の授業のめあてを明確にして、児童が知りたくなる、考えたくなるような学習展開を工夫しています。今年度は、学力向上プロジェクトを立ち上げ、1・2年生の確認テスト、3年生以上のプレジョイントやジョイントプログラムの結果を分析し、宿題や自主学習、ねっこタイムのあり方等について学校として方向づけをしていこうと動き出しています。4月に6年生が実施した全国学力・学習状況調査では、国語は全国平均より7.2ポイント、算数は8.4ポイント上回る好成績を残しています。ただ、個々に目を向けてみると、指標である全国平均に到達できていない子がいることも事実です。一人一人の子どもを徹底的に大切にするという意識に立ち返り、個に応じた指導のあり方を引き続き追究していきたいと考えています。



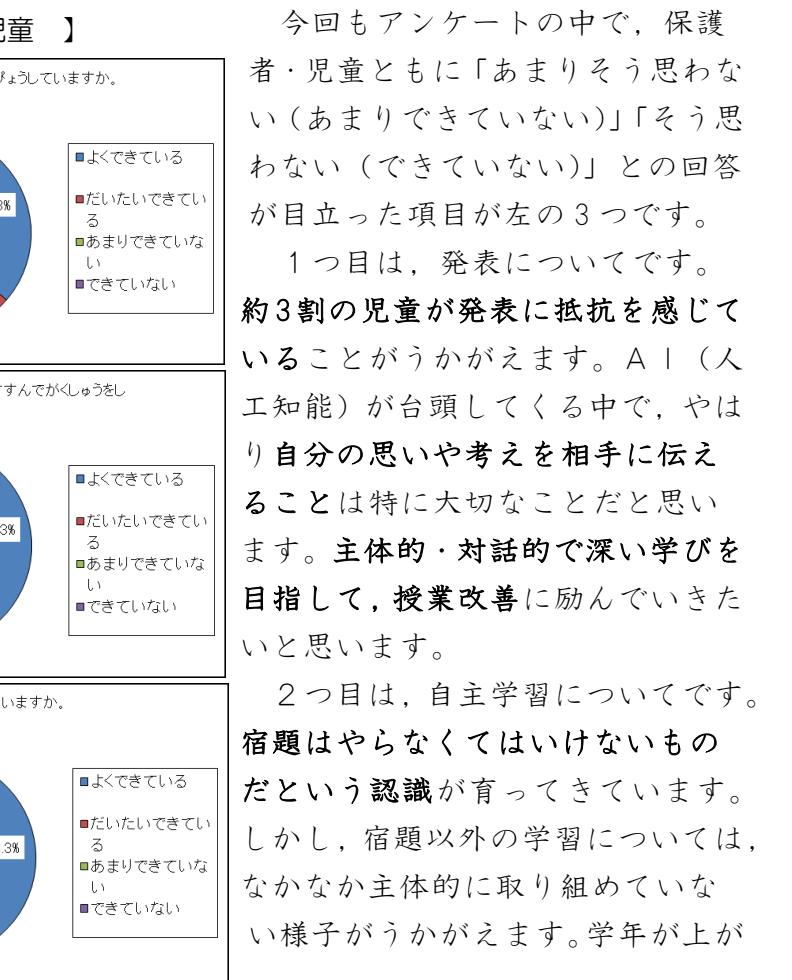
今回もアンケートの中で、保護者・児童ともに「あまりそう思わない（あまりできていない）」「そう思わない（できていない）」との回答が目立った項目が左の3つです。

1つ目は、発表についてです。

約3割の児童が発表に抵抗を感じていることがうかがえます。AI（人工知能）が台頭してくる中で、やはり自分の思いや考えを相手に伝えることは特に大切なことだと思います。主体的・対話的で深い学びを目指して、授業改善に励んでいきたいと思います。

2つ目は、自主学習についてです。

宿題はやらなくてはいけないものだという認識が育ってきています。しかし、宿題以外の学習については、なかなか主体的に取り組めていない様子がうかがえます。学年が上が



るにつれて、与えられた課題をこなすばかりではなく、授業の予習や復習、テスト勉強など、自分で必要性を感じながら自主学習のスケジュールを管理していく力をつけていくことが大切になってきます。そのためには、『自主学習』ではありますが、すべてを児童任せにするのではなく、ある程度のすすめ方のヒントを示してやることも必要ではないかと学力向上プロジェクトの方で手引書の作成を検討しているところです。

3つ目は、「家でもすすんで本を読んでいるか」についてです。学校では、朝読書の習慣が定着しており、本好きの児童が多いのですが、家庭での読書に費やす時間の優先順位は低いようです。他府県では、「読書貯金」という取組により子どもたちの読書意欲が持続しているそうです。京都市では、「読書ノート」がそれにあたるのかと思います。ご家庭でも読書ノートを活用していただき、家族そろって読書の時間を設けたり、公共の図書館へ足を運んだりしてさまざまな分類の本に出あえるように働きかけるなど、学校と家庭とが連携してよりよい読書の習慣化を図っていきたいと考えています。



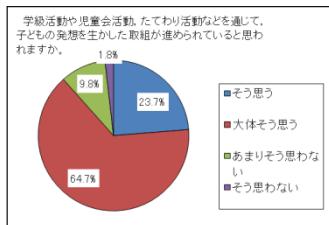
『豊かな心』の育成に向けて

★自分も相手も物も大切にできる心を育みます。

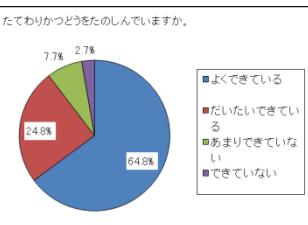


友だちと仲よく生活したり、きまりをきちんと守ったりするなど、上賀茂小学校の児童の規範意識は高いです。中でも、異年齢の関わり合いを通して、上級生が下級生をいたわる心、下級生が上級生を敬う心を育もうという相乗効果をねらったたてわり活動が効果をあげているのではないかと考えています。今年度は、リーダーである6年生が中心になって一緒に遊んだり、クイズやゲームにチャレンジしながらラリーをしたりす

< 保護者 >

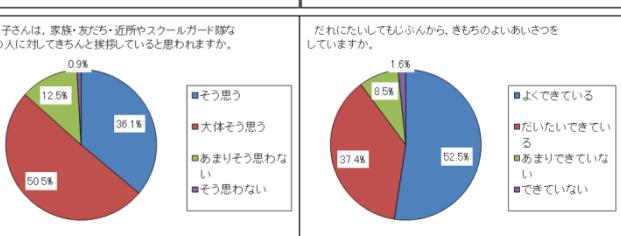


【児童】



るイベントだけではなく、6月に平和集会を開きました。その際に、平和への思いを込めて全校で折った千羽鶴を6年生が修学旅行で広島を訪れた際に届けるという取組ができました。

「あいさつ」についても今年度は、児童会が中心となって朝のあいさつ運動を実施し、率先して気持ちの良いあいさつのモデルを示していました。



ただ、この取組がキャンペーン期間のようになってしまってないでしょうか。ご家庭や地域ではいかがでしょうか。いつでも、どこでも、誰にでも、お互いが気持ちよくなるあいさつを大人も心がけることで、それが児童への模範となるのではないでしょうか。

また、迷子の落とし物が減らないことが本校の課題であります。自分の物への愛着はもちろんですが、友だちの物に対しても無関心にならないように、落とし物が1つでも持ち主の手に届くように意識を持続させていきたいと考えています。ご家庭でもお子たちの持ち物には必ずご記名いただき、行方不明の物がないかチェックするなど、ご協力いただけるとありがたいです。



『健やかな体』の育成に向けて

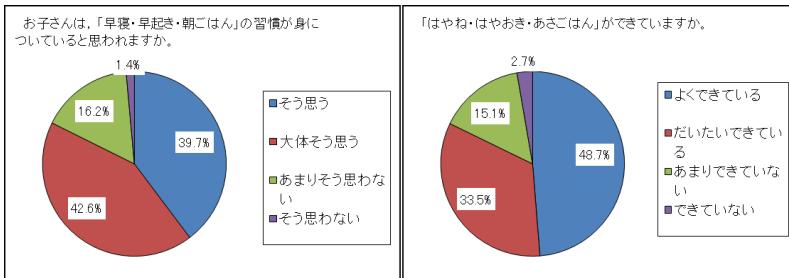


★自分の身は自分で守ることのできる子を目指します。

本校には、基本的な生活習慣が身についている子が多いと言えます。今年度より、生活のリズムが乱れがちな夏休み明けに「生活しらべ」を実施し、

＜保護者＞

【児童】



の処置率は、79%という驚異の結果です。いただいた「歯の特別表彰」を励みに、さらに健康への意識を高めていきたいと思います。

安全については、今年度も上賀茂防災の日に「水禍」の教訓について触れ、自助と共助の大切さを再確認しました。また、北署のご協力を得て、交通安全教室・防犯教室・非行防止教室などを実施しています。身に危険が迫っている際、いつもそばに大人がいるとは限りません。また、想定もできない痛ましい事故や事件が起きてしまう今、自分の身は自分で守る力をつけていけるように実践的な取組を工夫していきたいと考えています。



情報発信 連携・接続について



学校だよりやホームページ等を活用して、できるかぎりホットな情報を分かりやすく発信できるように努めてきました。今年度は、学年ごとにホームページ担当を配置しましたが、学年によって情報発信にバラつきが見られるのが現状です。1日平均アクセス数を80件から100件に増やせるように、広報活動にもより一層力を入れていきたいと思います。

小中の連携については、11月に本校卒業生の中学生2年生がチャレンジ体験として小学校の職場体験を行う予定です。昨年は7名の中学生が来校し、小学生の時には分からなかった教職員という仕事の難しさとやりがいを実感していました。

保幼小の接続については、長年積み上げてきた園児と児童との交流に加え、昨年からは、教職員が互いの授業や保育を見て協議し合うことで、校種間の違いをより理解し合う機会が設けられました。また、昨年度の年長組の担任が1年生の様子を参観して、情報交流をする保幼小交流会が実現しました。保幼小中と一人一人の子を徹底的に大切にする接続・連携のあり方を引き続き模索していきたいと考えています。

10月29日に開催した学校運営協議会にて、ご意見をいただきました。

- 多くの子どもたちの心の中を表現させる取組を工夫し、発表能力を身につけていくことが望ましい。
- 「気遣い」「やさしさ」が家庭の教育力で自然と身についている。放課後まなび教室では、異年齢のペアやグループが自然発的にうまれ、子ども同士の関わり合いが濃く、深くなってきていてよい。
- 朝元気にあいさつをする子が増え、8時20分にはほとんどの子が登校できています。
- 保幼小では、子どもが安心して学校へあがることのできるような連携ができるといよい。